

コロナにまけない

楽しむことをあきらめない ～団結力とアイデアで～

荘島校区中央西自治会では、地域の子もたちと交流を図るため、令和2年12月、「トレジャーハンティング～さがして！さがして！！宝をゲット！～」と題した、「宝さがし」ゲームを開催しました。

子どもたちは地図を片手にまちを歩き、5つのポイントに立っている地域の見守り隊から宝ものがある場所のヒントをもらいます。見事、答えを探し当てたら宝ものをゲットできるという、コロナ禍での毎日を頑張る子どもたちにとって、楽しいイベントとなりました。



答えが分かったらゴールへ

一堂に集まって楽しむことが難しいコロナ禍。毎年恒例の、子どもたちとの餅つきが開催できないという現実と直面した中央西自治会は、「行事をすることが目的ではなく、地域のつながりを絶やさないことが大切だ」と、三密を避けるための工夫を凝らし、みんなで協力し合っ

てこのイベントが実現しました。子どもたちも地域の皆さんと顔見知りになり、登下校中に声を掛け合うことが増えたそうです。また、子どもたちだけでなく、多くのお父さんお母さんと地域がつながるきっかけにもなりました。



見守り隊とジャンケンをしてヒントを集めます

私たちも、新しい時代についていく

東国分校区社会福祉協議会は「スマホ入門講座」を2週にわたって開催しました。今後、コロナ禍の生活や地域活動を行う上で、必要となってくるスマートフォンに少しでも慣れることを目的とし、NTTドコモ様を講師に迎えた講座です。

受講された人は「スマホを持っているけど、使いこなせていない」「コロナをきっかけにスマホを購入した」「スマホに興味はあるけど、私に使えるだろうか」との想いで参加されました。

受講当初は講師の話についていくので精いっぱいでしたが、機能を使いこなせるようになると、その動作に夢中になるほど一生懸命学ばれていました。

講座終了時には、文字入力をスムーズにできるようになっており、「今日のことを忘れないようにしないと」と笑顔で感想を話されました。

「将来的には公民館等で開催し、多くの人たちが慣れるようになってもらいたい」と、東国分校区社会福祉協議会では話されています。



「百聞は一見に如かず」 Let's Try!

どこでも・誰でも繋がる支え合い

3月14日、第42回久留米市ボランティアフェスティバル(同実行委員会主催)が開催されました。

今年度はコロナ禍ということで、初めてオンライン配信(YouTube・Zoom)に挑戦し、地域のお宝紹介、ボランティア団体、作業所の活動紹介、しゃべり場「コロナ禍のみんなに伝えたいこと」を行いました。しゃべり場には、お笑いコンビのサンシャインさん、手話落語家の林家とんでん平さん、サロンみんなでワハハの藤田直子さんをゲストに迎え、コロナ禍でのそれぞれの活動について熱いお話が聞けました。

初めての試みでしたが、市内の様々なボランティア活動について知っていただく機会になりました。

また、多くの団体さんのご協力のもと、「コロナ禍なので諦めるのではなく、できる方法で開催する」という思いが実現できました。

今後も市社会福祉協議会では市内のボランティア団体やボランティアの皆さんと一緒に活動します。

なお、当日の様子は市社会福祉協議会YouTubeチャンネルでオンデマンド配信中です。

<https://www.youtube.com/channel/UCG098hKU1F1IDS2dxhgf8Qw>



初めてのオンラインボラフェスに全集中